

# 北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会  
 会長 大久保雅人  
 事務局 札幌市立しらかば台小学校  
 事務局長 野村 邦重  
 TEL (011)852-4090  
<http://www.hokkaido-sla.jp/>  
 印刷所 ㈱北海プリント  
 TEL (011)811-2396

## 第31回 絵と文による冬休み読書大賞審査終わる

今年で31回を迎えた、冬の読書感想文コンクールとして実施されている『絵と文による冬休み読書大賞』の全審査が終了しました。応募総数は4664点、前回よりも550点以上も増えました。審査の結果、絵と文部門の大賞一席は、登別市立富岸小4年前田桃乃さんが、読書感想絵ハガキ部門の北海道学校図書館協会賞は、立命館慶祥中2年白川侑依さんが選ばれました。両部門ともに読書から受けた感動を絵と文で生き生きと表現した作品が上位をしめました。次頁からは、大賞4作品の感想文、上位入賞者一覧等をご紹介します。

### 絵と文部門



大賞一席  
 北斗市立沖川小1年  
 佐藤 歩 登



大賞一席  
 登別市立富岸小4年  
 前田 桃 乃



大賞三席  
 札幌聖心女子学院高3年  
 寺 井 紀 恵



大賞三席  
 登別市立若草小5年  
 川 島 大 器



「思いっきり笑おう」  
 北海道学校図書館協会賞  
 立命館慶祥中2年  
 白 川 侑 依

読書感想絵ハガキ部門

『風の靴』朽木 祥 著

# 絵と文による冬休み読書大賞受賞者一覧

## 《絵と文部門》

大賞一席	ぜったいに目を閉じない!!	登別市立富岸小	4年	前田 桃乃	『イオマンテ めぐるいのちの贈り物』
大賞二席	じぶんだけのひみつのぼしよ	北斗市立沖川小	1年	佐藤 歩登	『ひみつのぼしよ』
大賞三席	物乞う仏陀を読んで	札幌聖心女子学院 高	3年	寺井 紀恵	『物乞う仏陀』
大賞三席	新しい思い出	登別市立若草小	5年	川島 大器	『花ざかりの家の魔女』
小学校低学年賞	りらちゃんごるちゃん	札幌市立あいの里東小	1年	小野寺千歳	『ゴリラのごるちゃん』
小学校低学年賞	ぼくは、おり紙やさん	札幌市立屯田北小	2年	安永 響	『もりにいちぼがでる』
小学校中学年賞	心をこめて…	札幌市立福移小	3年	長谷川詩恵奈	『ソクラテス学校へ行く』
小学校中学年賞	「サケと浅井っ子のきずな」	函館三育小	3年	森田 明人	『サケと「浅井っ子」のふるさと物語』
小学校高学年賞	二人の約束	室蘭市立知利別小	5年	八重樫菜々子	『花ざかりの家の魔女』
小学校高学年賞	ぼくが音楽を続ける理由	札幌市立藤野小	6年	伊田 晃都	『ぼくがバイオリンを弾く理由』
中学生賞	異世界へのとびら	札幌市立屯田北中	2年	安永 楓子	『夕暮れのマグノリア』
中学生賞	必死にやれば見えてくる	登別明日中等教育 中	3年	菊地 ねね	『龍の腹』
高校生賞	該当なし				
学校賞	函館市立昭和小学校				

## 《読書感想絵ハガキ部門》

北海道学校図書館協会賞	思いつき 笑おう	立命館慶祥中	2年	白川 侑依	『風の靴』
北海道新聞社賞	くまさんと寝たいな	滝川市立滝川第一小	1年	林 翔太	『みんなおやすみ…』
北海道新聞社賞	川を泳ぐかおなし	函館市立昭和小学	4年	窪田 海人	『サケと「浅井っ子」のふるさと物語』
北海道新聞社賞	平和の汽笛	北海道北広島西高	3年	日向 健人	『汽笛』
学校賞	北海道北広島西高等学校・森町立鷺ノ木小学校				

### 大賞一席

### ぜったいに目を閉じない!!

登別市立富岸小学校4年 前田 桃乃

社会科でアイヌの人たちの生活を学習し食べ物一つ一つをカムイとするアイヌの人たちの文化を知りたいと思いました。『イオマンテ』とは、生まれたばかりの子熊をつかまえて一年間育ててカムイの国へ送る熊送りの儀式です。子熊に花矢が射られる時、私がアイヌの子どもなら見ていられないかもしれません。一緒に遊んだり小さな妹のようにかわいがっていた子熊を殺してしまうのは少年も本当は苦しいと思います。「ぜったいに目を閉じない。」と決心したのは送るということを知っているからです。オハウを食べただけだと喜ぶはずだけど少年は子熊と一緒にすごした思い出があるから目を閉じないんだと思います。私は熊の肉は食べたことがないけど、ふだん何気なく食べている肉や魚も大切な命をいただいていると感じました。少し前まで生きていた動物や野菜にも命があり、私たちが生きるためにいただいたいおちの贈り物の大切さをこの本は教えてくれました。

(『イオマンテ めぐる命の贈り物』 寮 美千子 著／小林敏也 画)

**大賞二席****じぶんだけのひみつのばしょ**

北斗市立沖川小学校1年 佐藤 歩 登

さやがみつけたしげみは、もりの中のようにくらしばしょでした。ぼくは、そのくらしばしょが、これからどうなるのかわくわくたのしみでした。はっぱのすきまからは、そこのこうえんのけしきが見えました。きらきらしたひかりは、イルミネーションみたいでとてもきれいだったとおもいます。

しげみの中にはいろいろなどうぶつもいました。とりがはねをやすめにきたり、それをみけねこがじゃまをしたり、くまがのぞいてきたりしました。ぼくは、みけねこのかおがいじわるそうに見えておもしろかったです。

さやがひらこうとおもっていたパーティーでは、くまがケーキをたべようとしてかまえていました。ぼくも、あのケーキをいちどたべてみたいです。パーティーには、しかもいたので、しかにのってケーキをたべてみたいです。さやのあたまの中のパーティーは、たくさんのいろいろなどうぶつたちとあえるので、ますますたのしそうに見えました。

(『ひみつのばしょ』 ひがしちから 作・絵)

**大賞三席****物乞う仏陀を読んで**

札幌聖心女子学院 高等学校3年 寺井 紀 恵

赤くざらついた土が、今も私の網膜に焼きついている。「ワン・ダラー・プリーズ」と機械のように繰り返す少女、片足の無い体を引きずる老人、積まれた人骨。この夏、初めて学校の研修で訪れたカンボジアは、そうしたもので私を迎えた。

初めてカンボジアを訪れた著者もこのような思いだったのだろうか。彼はこの本の中でこう書いている。「眼についたのはとにかく赤い土であった」と。そしてその赤い土の王国で、著者は1人の青年と出会う。義足を引きずる、妙に明るい、いわゆる物乞いだ。名をリンというその青年は、14歳で政府の志願兵となり、18歳の時地雷で片足を失っていた。

カンボジアへ旅立つ前にこの本を読んだ私には信じがたい事実だった。14歳で戦場へ行き、18歳で足を吹きとばされた。そんな馬鹿な！人生の滑り出しでそんな地獄を見るなんて！そう思った。

だが、その考えはすぐに書き換えられる事になる。カンボジアという国において、それはあまりにも「日常」であったのだ。一度街に出た時、義足に松葉杖をつく人の多さに私は呆然とした。それは、奇しくもこの本を読んだ後に味わった、あの信じがたい感覚によく似ていた。

人生は山であると私は強く感じた。私達はそこを登り続ける旅人だ。頂点は見えず、時を止める事もできずにただ登り続けるしかない。だが、それは悲観する事ではないのだ。私達人間は、どのような形であれ生きて存在しているのだから。生きていのであれば希望を見つける事もできる。

私は夏、赤い土に覆われたあの国で確かにその光を見た。カンボジアの人々の黒々とした眼、その中に、生きようともがく人の力を見た。物乞いと見つめあったあの国で、確かに私と彼らは生きていた。あの土の赤は、生きようと歩く彼らの血潮の赤だったのだ。

(『物乞う仏陀』 石井光太 著)

**大賞三席****新しい思い出**

登別市立若草小学校5年 川島 大 器

ぼくは、この本を読む前とあとでは人に対する考え方が変わりました。今までは思い込みや見た目で見断っていたからかもしれません。ミクとコッテンとションはお互いを少し誤解してつきあっていたのだと思います。オーバの家に行ったのをきっかけに、お互いの優しさや思いやりに気づいた場面で「素直になると相手の気持ちがよく分かるんだな。」と思いました。「灰色の魔女」と呼ばれていたオーバは厳しいけれど一生けん命な先生だったのだと思います。それは、自分の教え子を大切に思って花を増やしていたからです。思いやりと優しさにあふれた場面だと思いました。それと、「オーバの記憶がこぼれたらミクが拾ってあげる。」という言葉に感動しました。ぼくも自分のおばあちゃんにそうしてあげたいと思います。読み終わって人は関らなければわかり合えないということ、心が通い合うことで人は優しくなることに気づけて、とてもうれしい気持ちになりました。

(『花ざかりの家の魔女』 河原潤子 作／岡本 順 絵)

## 入賞者一覽(奨励賞)

## 【絵と文部門】

## 小学校低学年(15名)

作品名	氏名	学校名	学年	著書名
夜中に文字がうごきだす！	大竹真央	札幌市立三角山小	1	ひらがなだいぼうけん
みんなおやすみ…	大石橋美優	函館市立日吉が丘小	1	みんなおやすみ…
ゴリラのぐるちゃん	木坪村心	函館市立柏野小	1	ゴリラのぐるちゃん
「ぼくのひみつのばしょ」	木坪井琉真	室蘭市立絵鞆小	1	ひみつのばしょ
みずならの木と私のおじいちゃん	木坪村百花	登別市立鷺別小	1	みずならのいのち
ちょうちよがだいすきならいおん	坂優華	八雲町立黒岩小	1	きぜつライオン
みんなおやすみ…	島子莉緒	札幌市立幌西小	2	みんなおやすみ…
どうぐがないのにすごいね	伊藤聖真	函館市立昭和小	2	どうぐはなくても
ふたりともよかったね	伊藤彩花	函館市立昭和小	2	アップルパイたべてげんきになあれ
「あっちゃんとブっちゃん」を読んで	鈴木秋哉	函館市立昭和小	2	あっちゃんとブっちゃん
キツネのためにじつとまつよ	富田海斗	函館市立昭和小	2	北国からの動物記 キツネ
ペンギンってすごいな	中嶋涼晏	函館市立昭和小	2	ペンギンのヒナ
元気をわけてもらえるね	橋嶋拓	函館市立昭和小	2	アップルパイたべてげんきになあれ
ふくろうとかっこいいオオカミ	橋菊本地	函館市立昭和小	2	エゾオオカミ物語
ぼくとりゅう	柴田梨喜	八雲町立東野小	2	まゆとりゅう やまはのむすめ まゆのおなほし

## 小学校中学年(15名)

作品名	氏名	学校名	学年	著書名
ワカバのきもち	野月そよか	札幌市立手稲北小	3	あえてよかったね
字を書いたソクラテス	百瀬温	札幌市立手稲東小	3	ソクラテス学校へ行く
アヤカシ森がきれいになった	中村海斗	函館市立金堀小	3	アヤカシ森からSOS!
ソクラテスへ	二階堂ゆうな	函館市立桔梗小	3	ソクラテス学校へ行く
心の中にあるたからもの	小野瑞貴	旭川市立神楽小	3	アヤカシ森からSOS!
会えてよかった	鈴木結理	室蘭市立海陽小	3	あえてよかったね
エンザロ村のじまん	亀岡小雪	北広島市立西部小	3	エンザロ村のかまど
本物の宝物	加賀谷陸登	北斗市立上磯小	3	つばさをもらったライオン
サケの「母川回帰」	船寄悠樹	北海道教育大学附属函館小	3	サケと「浅井子」のふるさと物語
信じる心	秋山友香	札幌市立真駒内南小	4	アヤカシ森からSOS!
かおなしと私	本間風々海	室蘭市立絵鞆小	4	サケと「浅井子」のふるさと物語
「三年二組のらねこ大作戦、大成功！」	太田美月	釧路市立鳥取西小	4	ソクラテス学校へ行く
サケと「浅井子」のふるさと物語を読んで	塩尻彩月	苫小牧市立拓勇小	4	サケと「浅井子」のふるさと物語
本当の優しさ	阿部島美晴	北斗市立上磯小	4	あっちゃんとブっちゃん
おじいちゃん学校へ行く	其田浩平	北斗市立石別小	4	ソクラテス学校へ行く

## 小学校高学年(15名)

作品名	氏名	学校名	学年	著書名
3組の心が一つになった日	河端カノン	札幌市立南月寒小	5	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～
「卒業の歌」を読んで	佐々木祥汰	函館市立駒場小	5	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～
花ざかりの家の魔女を読んで	長谷川智華	函館市立磨光小	5	花ざかりの家の魔女
「ミクのやさしさ」	工藤彩香	室蘭市立海陽小	5	花ざかりの家の魔女
「友情と勇気」	坪井颯汰	室蘭市立絵鞆小	5	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～
オーバの正体	松井楓夏	釧路市立鶴野小	5	花ざかりの家の魔女
犬との出会いはすばらしい	林あかね	浦河町立野深小	5	セラピー犬からのおくりもの
卒業の歌～ぼくたちの挑戦～を読んで	高倉優菜	北海道教育大学附属旭川小	5	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～
心のつながり合い	高木美南	札幌市立宮の森小	6	セラピー犬からのおくりもの
「セラピー犬と命」	古本聖奈	室蘭市立海陽小	6	セラピー犬からのおくりもの
「ぼくらの船でホーン岬へ」	八重樫佳代	室蘭市立水元小	6	ぼくとリンダと庭の船
「ゾーイとスニーカーへ」	山崎若菜	室蘭市立旭ヶ丘小	6	セラピー犬からのおくりもの
友情の歌声	森下傑	伊達市立伊達小	6	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～
力を合わせて	浅利萌	七飯町立峠下小	6	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～
卒業の歌～ぼくたちの挑戦～を読んで	若林世知	愛別町立愛別小	6	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～

## 中学校・高等学校(6名)

作品名	氏名	学校名	学年	著書名
クローデットが教えてくれたこと	岩田紗有美	札幌市立琴似中	1	席を立たなかったクローデット -15歳、人種差別と戦って-
空想が広がる緑の模様画	小野柚香	札幌市立もみじ台南中	1	緑の模様画
人間と野生動物	川去健翔	石狩市立花川中	1	野生動物のお医者さん
人種差別の勝者は強い心	川合優永	北海道教育大学附属函館中	1	席を立たなかったクローデット -15歳、人種差別と戦って-
勇気をもって	中島漣	七飯町立大中山中	2	席を立たなかったクローデット -15歳、人種差別と戦って-
十二番目の天使	椎野麻里奈	北海道札幌北高	1	十二番目の天使

## 【読書感想絵ハガキ部門】

## 小学校低学年 (6名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
森のみんなへの手紙	大 川 翼	札幌市立西野小	1	みんなおやすみ…
わたしとさやちゃんのひみつのばしょ	木 村 しづ香	札幌市立福住小	1	ひみつのばしょ
すてきなところ	松 藤 那奈	旭川市立共栄小	1	ちいさなまち
春になったら	藤 澤 柊生	札幌市立山の手南小	2	みんなおやすみ…
ふしぎな海の色	畠 谷 練	函館市立本通小	2	ムーミンのふしぎ
お日さまみたいなくまさん	三 上 大翔	室蘭市立海陽小	2	みんなおやすみ…

## 小学校中学年 (6名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
本当のごほうびは心がよろこぶこと	小 林 育 美	札幌市立手稲鉄北小	3	あえてよかったね
ソクラテスはすごいな！	北 野 大 地	室蘭市立海陽小	3	ソクラテス学校へ行く
きつと、どこかに……	川 崎 あみ	北斗市立上磯小	3	じぶんの木
のりこえてー	西 川 夢 夏	北斗市立上磯小	3	じぶんの木
ソクラテス学校へ行く	中 村 詩 子	北海道教育大学附属函館小	3	ソクラテス学校へ行く
出会いから生まれる道	皆 川 理 梨	函館市立柏野小	4	あえてよかったね

## 小学校高学年 (6名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
花ざかりの家の魔女	池 田 成 美	札幌市立伏古小	5	花ざかりの家の魔女
麻里絵ちゃんの曲	北 野 彩 夏	室蘭市立海陽小	5	卒業の歌～ぼくたちの挑戦～
オーロラの向こう側には	中 島 結	七飯町立大中山小	5	オーロラの向こうに
母のために	伊 藤 彩 音	森町立鷺ノ木小	6	ぼくがバイオリンを弾く理由
友情のしるし	住 吉 有 菜	森町立鷺ノ木小	6	レアといった夏
子やぎの命	樋 口 遼	森町立鷺ノ木小	6	子っこやぎのむこうに

## 中学校・高等学校 (10名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
おじいちゃんは人生の教科書	辻 梨 真	札幌市幌東中	2	水曜日のうそ
龍の腹ーまだこの本を読んでいない人へー	梨 木 寿 里	札幌市立柏丘中	2	龍の腹
野生動物のお医者さんを読んで	成 田 ゆ り	札幌市立澄川中	2	野生動物のお医者さん
挑戦	五十嵐 幸 佑	石狩市立花川中	2	虎と月
宝物	和 田 亜有未	石狩市立花川中	2	ガール！ガール！ガールズ！
奇跡って。	鈴 木 葵 衣	立命館慶祥中	3	ひまわりのかっちゃん
李徴	藤 本 倫 佳	北海道北広島西高	1	虎と月
原っぱで走る二人	山 内 いづみ	北海道北広島西高	1	チャンプ 風になって走れ！
「刻」	野 口 雅 未	音威子府村立北海道おといねぶ美術工芸	2	さよなら僕の夏
神風	吉 田 綾 乃	北海道北広島西高	3	最弱ナイン 不登校球児の青春

## 審査総評

## 第31回絵と文による

## 冬休み読書大賞の審査を終えて

今年で「絵と文による冬休み読書大賞」は、31回目を迎えました。多くの児童生徒の皆さんを始め、たくさんの学校にこの「絵と文による冬休み読書大賞」に取り組んでいただき、応募数も「絵と文部門」1,468点、「絵ハガキ部門」3,196点、合計4,664点と年々増えてきました。

応募作品の一つ一つを慎重に審査させていただきました。どの作品からも子どもらしい素直な表現が、審査する側にも伝わってきました。

「絵と文部門」では、上位入賞作品の場合、絵と文共に時間をかけてかき込んでいる作品が多かったと思います。高校生の作品は、応募数は少ないのですが、絵のレベルが高く、みずみずしく、感性の鋭さを感じました。

「絵ハガキ部門」では、審査会の回を重ねる毎に、質が高くなってきているのを感じます。特に低学年に子どもらしい言葉、つぶやきを感じる作品が多く見られ、また、学年が進むにつれ、経験の重ね方の違いから本の読み込み方の違いを感じました。中・高校生になると、文の部分も絵のレイアウトの一部になってしまうために字数

審査委員長 棚橋 洋子 (札幌市立手稲東小学校校長)

が極端に少なくなってしまうことがありました。規定の字数に収めて表現していくことも大切にしてほしいと思います。

「絵と文部門」も「絵ハガキ部門」も上位に選ばれた作品には、本との出会いを通し、読み手の感動が豊かに表現されていました。また、学年が進むにつれ、文と絵のバランスがとれた作品が多く創作意欲がうかがえました。その半面とても残念に思っているのは、規定外の応募も多くあったことです。応募要項を今一度確認していただきたいと思います。

審査を終えて、子どもたちの作品の中に読書を楽しんでいこうとする姿勢や、テーマを子どもらしい言葉で表現している姿、継続して応募してくる子どもたちの成長の様子をうれしく思いました。さらに、次年度の教科書の多くには感想画が導入されているので、来年の応募に大きな期待を寄せています。なお、上位入賞作品は本日のこの紙面のほかにも、巡回展で紹介されますのでご覧ください。

## 第43回 北海道学校図書館研修講座

1月5日(水)～7日(金)、北海道立道民活動センター(かでの2・7)、札幌市立北光小学校、藤女子大学図書館を会場とし、120名を超える参加者がありました。講座の様子から、一部を紹介します。

\* \* \*

### ■共通講座 講演「学校指導と学校図書館」

帝京大学文学部教育学科・大学院教職研究科准教授 鎌田 和宏

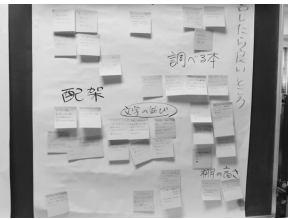
今、子どもにどのような力を育てるか？

1. 知識基盤社会における3R'sの必要性
2. 新学習指導要領と読書、学校図書館
3. 教科学習での図書館活用の方法
  - (1) 教育課程の整備
  - (2) 読書指導による読書の習慣化
  - (3) 学校図書館の整備
  - (4) 学び方の指導(利用指導)の実施・充実
  - (5) 教科学習における学校図書館の活用

### ■選択講座：ステップアップコース

#### 講義・実習「学校図書館クリニック」

旭川市立愛宕中学校司書教諭 加藤 直子



札幌市立北光小学校 学校図書館ビフォー&アフター

### ■研修講座に参加して(小学校)

札幌市立白楊小学校教諭 後藤 弥生

昨年度、司書教諭の免許を取得し、初めて研修講座に参加させていただきました。たくさんの講座があり迷いましたが、受講させていただいたどの講座も興味深く、実践に役立つものばかりでした。

3日間の研修のなかで特に印象に残ったのは、「レファレンスの基本」についての講義・演習です。知りたい事柄の回答に至るプロセスを、演習を通して学びました。たくさんあるレファレンス資料のなかから、自分が求めている情報にいかにつどりつくか。それには、さまざまな視点が必要になることを実感しました。自分が求めている



た情報に、到達した達成感や、わからないことがわかった喜びは、格別です。子どもたちに、調べ学習を指導するうえでの、大きな示唆を与えていただきました。

また、道内各地から参加された先生方の実践にともなう、いろいろなお話をうかがうことができたのも、大きな収穫となりました。さまざまな環境のなか、学校図書館に対する熱意と地道な努力を続けてこられていることに、勇気づけられました。

まずは、できることから始め、今回の研修で学んだことを、日常生活や教育活動の現場で生かし、読書活動の楽しさを広めていきたいと思っています。ありがとうございました。

### ■研修講座に参加して(高等学校)

北海道釧路潮陵高等学校 司書教諭 一瀬 礼子

今年度、初めて司書教諭として学校図書館の運営に携わるようになった私にとって、学校図書館の基本的なことから学びなおすことができる今回の研修会はとても有意義なものでした。

研修の中で一番印象に残ったことは、「学校図書館は教育課程の展開に寄与しなければならない」ということでした。鎌田先生の講演、講座や討議のそれぞれで、教育活動の中での学校図書館の必要性や実践例をうかがったことによって、改めて学校図書館の役割を強く実感しました。役割を果たすために必要な管理や運営の仕方についても詳しく説明していただき、学校図書館を組織の中に位置付けることの必要性や、学校図書館の1年間の流れや環境づくりの仕方など、実践していく上で役立つ情報をたくさん得ることができました。

また、ナイターの「もっと本」では、普段からたくさんの本に触れている先生方のお勧めの本をうかがったことで、読んでみたい本が増え、様々な資料を読んで学んでいきたいと思いました。

3日間の研修の中では、交流や討議など、他校の学校図書館の問題点や改善した点、先生方の実践例などをたくさんうかがうことができました。これまで、他の高校の先生と学校図書館について話す機会はなかったもので、諸先輩の話をうかがうことは、私にとってたいへん勉強になりました。今回の講座で学んだことを、日常の教育活動や学校図書館運営に活かしていきたいです。ありがとうございました。



## 学校図書館情報

### ◆平成23年度 北海道学校図書館協会 定期総会の開催

- ・日時 平成23年5月14日(土) 14:00~16:30
- ・場所 北海道立道民活動センター (かでの2・7) 7F特別会議室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
各支部の総会参加をよろしくお願いいたします。

### ◆研修講座

- 赤木かん子さんの調べ学習講座(第2回)のご案内
- ・日時 平成23年4月30日(土) 10:00~16:00
- ・場所 北海道立道民活動センター (かでの2・7)
- ・主催 北海道学校図書館協会&児童図書館奉仕塾  
※詳細については、北海道立図書館ホームページをご覧ください。

### ◆第39回北海道学校図書館研究大会・十勝大会のご案内

- ・大会主題 「確かな学びと豊かな心をはぐくむ 学校図書館」  
~つなげる学び つながる仲間~
- ・講演 作家 あさの あつこ
- ・期日 平成23年9月9日(金)~10日(土)
- ・会場 音更町文化センター・音更町立共栄中学校ほか
- ・参加費 4,000円

### ◆全国学校図書館協議会総会・各県事務局長会議開催

2月3日(木)東京の学校図書館センターで、午前中は定期総会、午後から各県事務局長会議が開催されました。北海道からは会長大久保と事務局長野村が参加しました。日本相撲協会の公益法人認可がどうなるか、話題となっていますが、いよいよ全国学校図書館協議会の公益社団法人申請が行われる年となります。より公益性の高い活動が期待されます。

活動方針として、「学校図書館及び青少年の読書の振興」では、①公益法人化による事業の見直しと新たな展開、②「学校図書館基準」の普及、③全校における読書指導の推進、④読書会の普及、⑤情報活用能力育成の指導の推進、⑥教員へのサポート機能充実の推進、⑦学校図書館アドバイザー(仮称)制度の創設、⑧司書教諭の専任化・配置拡大及び研修の充実を図る運動の展開、⑨学校司書の配置促進と法制化の推進、⑩「子ども読書活動推進計画」(第2次)等による読書活動の振興を図る運動の展開、⑪第4次「学校図書館整備5か年計画」の策定と第3次計画に基づく予算化運動の展開、⑫高等学校の図書整備施策策定に向けての活動の展開等が提案され承認されました。(G体は、新規活動。)

また、今後の全国大会の開催地が提案承認されました。

第38回全国大会(鳥取県米子大会)

平成24年8月8日(水)~10日(金)

第39回全国大会(山梨県甲府大会)

平成26年8月6日(水)~8日(金)

2月4日(金)午前の国会議員への陳情活動では「学校図書館の充実についてのお願い」として、①司書教諭の専任化と学校司書の法制化、②学校図書館の図書の充実のための予算措置、③教育課程に「読書の時間」の設定、の3点をお願いしました。

## 事務局

〒062-0054 札幌市豊平区月寒東4条18丁目10-45

札幌市立しらかば台小学校内

事務局長 野村 邦重

TEL 011-852-4090

FAX 011-852-2379

e-mail kunishige nomura@city.sapporo.jp

## Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

## キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

### ◆第56回青少年読書感想文全国コンクール

表彰式 平成23年2月4日(金) 東京會館  
北海道からは、2名が入賞、13名が入選となりました。  
内閣総理大臣賞

高原 楓奈さん(北海道教育大学附属釧路小学校6年)  
奨励賞(サントリー奨励賞)  
市川 夏鈴さん(留萌市立潮静小学校4年)



高原さんと著者のお二人



授賞風景

### ◆第34回北海道子どもの本の集いin旭川大会のお知らせ

日時 平成23年7月30日(土)~31日(日)  
会場 旭川市ときわ市民ホール他  
メインテーマ「すべての子らに本の楽しさを」  
基調講演 アーサー・ピナード(詩人・俳人、随筆家、翻訳家)  
主催 北海道子どもの本連絡会

### ◆第17回学校図書館夏期セミナーのお知らせ

日時 平成23年8月4日(木)~5日(金)  
会場 鳥取県 米子コンベンションセンター(ビックシップ)他  
テーマ「学びが広がる ひとをはぐくむ 学校図書館」  
主催 全国SLA、鳥取県SLA

### ◆第53回北海道図書館大会のお知らせ

日時 平成23年9月1日(木)~2日(金)  
場所 藤女子大学  
テーマ「発想する図書館~図書館新時代を切り開く~」  
基調講演 湯浅俊彦 夙川学院短期大学准教授

上記、大会等の詳細については、それぞれの関係ホームページをご覧ください。

## 編集後記

低温と大雪に悩まされた冬がやっと終わろうとしています。年度末に入り、皆様には多忙な毎日をお過ごしのことでしょう。本号は『絵と文による冬休み読書大賞』の特集と、1月に開催された第43回北海道学校図書館研修講座の報告を掲載しております。

さて、今年度より機関紙『北海道の図書館』は4回の発行となりました。発行回数は減りましたが、内容面での充実を図ってきました。来年度も学校図書館に関する様々な情報をお届けしていきたいと思っております。

編集: 杉本 操 村山 知成 佐藤 秀則  
野村 邦重 飯島 道恵

ホームページアドレス

<http://www.hokkaido-sla.jp/>